

年度 2008 後期	木曜日・5校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	経済と経営 (21世紀型のマネー経済) Economics and Business (Money and Economy in 21st Century)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:川村 雄介/Eメールアドレス:ykry@nagasaki-u.ac.jp/研究室: 経済学部本館327号室/TEL: 820-6407 /オフィスアワー:原則、平日午後5時以降			
担当教員	川村 雄介		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500文字) 授業のねらい: 21世紀入りを境に日本と世界の金融システムは大きな変化をとげつつある。とくに従来の規制色の強い、銀行中心、相対的な金融を中心とする仕組みが限界に達し、市場を重視した金融がグローバルな規模で進展している。この講義では、このように劇的な変化の最中にある金融、「21世紀型のマネー経済」を主眼に、大学生として最低限身につけておくべき基本知識や簡単な理論について網羅的に講義し、今後の専攻分野のいかににかかわらず、21世紀を生きる社会人としての最低限の金融リテラシーを涵養することをねらいとする。 授業方法: 講義を中心とするが、適宜、問答形式やビデオ等の情報教材も活用していく。また、毎回必ず当講義にかかわる経済・金融の時事テーマについても簡単な解説を加えていく。 授業到達目標: 大学生として必要な金融常識を養う。具体的には一般紙の経済面を読みこなせるレベルの金融基礎知識を身につけること。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300文字) 授業内容(概要) テキストに基づき、21世紀型のマネー経済を理解するための基本知識を系統的に講義する。適宜、質疑・問答も取り入れる。 第1回 金融とは要するに何か…経済と金融、金融機関の役割、金利と景気、日本銀行の役割 第2回 企業と株式…株式とは何か、株式会社の意義、上場の意義 第3回 債券と投資信託…債券とは何か、投資信託とは何か 第4回 企業買収と経営…M&Aとは何か、ファンドとは何か、買収防衛策とは何か 第5回 株式市場…株式に投資する意味とは何か、証券取引所について、新興市場とは何か 第6回 株価と景気…株価指数とは何か、株価は景気の鏡、株価と企業・金融機関の関係 第7回 金融機関の種類…銀行、証券会社、保険会社の特徴、ノンバンクとは何か、欧米の現状 第8回 日本の金融再編…戦後の日本の金融の特徴、日本経済を取り巻く環境変化 第9回 公的金融の改革…郵貯と銀行、郵政改革の理由、財政投融资とは何か 第10回 円高と円安…外国為替相場とは何か、円安・円高とは何か、投資と為替 第11回 金融と金融行政…不良債権問題とは何か、金融ビッグバン、金融商品取引法、市場型間接金融 第12回 金融機関の最新動向…銀行業界の現状、証券業界の現状、電子マネーとは何か 第13回 金融商品…投資信託、個人向け国債、外貨金融商品 第14回 最新の金融技術…デリバティブとは何か、証券化とは何か 第15回 講義の総括とレビュー(試験を含む)			
キーワード	市場、証券、グローバル化、企業金融、景気と金融		
教科書・教材・参考書	教科書:図解雑学「日本の金融」 川村雄介、ナツメ社、2007年 参考書は適宜指示しますが、新聞の経済面にできるだけ毎日目を通してもらいたいと思います。		
成績評価の方法・基準等	期末試験80%、学期中に2度出す宿題の小レポート20%		
受講要件(履修条件)	特になし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	最低限の金融リテラシーを養うこと		
備考(準備学習等)	関係の新聞記事や雑誌に目を通して疑問や問題意識を持ってください。		